



ぱんだぐみ クラスだよ！ 6月号

次第に日差しが強くなってきましたが、子どもたちは水分補給をしたり休憩をとったりして、園庭や室内で下記のような遊びを楽しんでいます。クラスの友達に興味をもち、名前を読んだり、一緒に遊ぼうとしたりする姿が見られるようになってきました。担任も子どもたちと一緒に遊びながら、それぞれの思いを受け止め、一緒に遊ぶことを楽しめるよう関わっています。

砂や泥、水、寒天で遊んでいます



つめたいね

砂場では、砂を掘ったところにバケツやカップで水を入れたり、砂や泥水の中に手や足を埋めたりして、全身で『冷たい』『とろとろ』などの感触を味わっています。日陰では水鉄砲やスーパーボールすくいなど、たくさん水に触れています。「きもちいい」と、生き生きとした表情で遊ぶ子どもたちです。

また色水遊びでは、食紅で色を付けた水を『魔法のお水』と言いながら、カップに入れてジュースに見立て、ごくごく飲む真似を試みたり、二つの色の水を混ぜて新しい色をつくったりしています。寒天遊びでは、寒天ならではの感触に驚きながら手で潰したり、スプーンですくったりするなど、感触を楽しみながら、「ベリーヨーグルトだ」とイメージをもって遊んだり、色の綺麗さや混ぜると色が変わる不思議さを感じ、夢中になって遊んでいます。



きれいないろができた！



われた！

歯磨き

ピカピカになってる？



歯科衛生士専門学校の学生さんに、歯の磨き方を教えてもらい、給食後に歯磨きを行っています。養護教諭と一緒に歯磨きを行い、「ピカピカの歯にしよう」と丁寧に磨く姿が見られるようになってきました。自分の歯を綺麗にしようとする気持ちを認めながら、励ましています。

七夕飾りづくり

七夕の由来を知り、行事に親しめるように、物語にして子どもたちに伝えました。のりや絵の具を使って、自分の思いを出しながら楽しんで飾りをつくっています。できた飾りを保育室の入口に飾ると、「きれいだね」「このすいかおいしいんだよ」と言いながら嬉しそうにながめています。



たねいっぱいにして



きれいなかたちになったよ

